



病診連携通信

第 26 号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
平成30年10月

先進医療〈多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術〉

白内障手術では混濁した水晶体の代わりに眼内レンズを挿入します。従来は**単焦点レンズ**を挿入したので、術後のピントを遠くか近くのどちらかに合わせていました。

選んだ焦点から外れた遠距離や手もとを見るときには眼鏡(例えば老眼鏡)をかけてピントを合わせるが必要でした。

【多焦点眼内レンズ】

“**多焦点眼内レンズ**を用いた水晶体再建術”が先進医療(*)として承認されています。単焦点レンズと比べ、“多焦点レンズ”は遠距離だけでなく、手もとにもピントが合いやすくなりますので、眼鏡をかける頻度が減ります。

(*)先進医療のため手術は自費となり、それ以外の入院費用・診察・検査・薬は保険適応となります。

生命保険の先進医療特約につきましては、患者様ご自身で契約内容をご確認下さい。

白内障手術後の見え方

単焦点レンズ

多焦点レンズ



※ピントを遠くに合わせた場合

手元から遠くまでの
ある1点のみよく見える

手元から遠くまで見える

【さらに改良された多焦点眼内レンズ】



焦点延長:遠くから近くにピント

今までの多焦点眼内レンズではピントが合う距離が複数あったものの、少し距離が変わると見えにくいことがありました。

今までの多焦点眼内レンズとは異なり、レンズの形状と溝とを組み合わせることにより、遠方から中間まで高いコントラストで自然な見え方をするレンズが新しく登場しました。

エシェレット回折型眼内レンズとよばれるこのレンズでは、ピントがあう距離が点ではなく、少しの距離を持って連続的である特徴があります。つまり遠方から中間まで網膜に途切れることなく像を結像することが出来るため、距離の差による視力の落ち込みがすくなくなり、より実生活での見え方に近いレンズといえます。

白内障手術を検討されている患者さんは、是非当科に一度ご相談下さい。
(眼科:神田)

寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または
☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせ下さい。